

## 協定留学近況報告書

記入日	2022年 10月 29日
留学先大学	シーナカリンウィロート大学
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語):ソーシャルコミュニケーションイノベーション学部, (現地言語での名称):College of Social Communication Innovation <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他:
留学期間	2022年8月ー2023年5月
明治大学での所属	情報コミュニケーション学部 情報コミュニケーション学科
学年(出発時本学での学年)	学部 2年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

出発前は、タイに以前留学・居住していた・在住の知人を持って行った方が良いもの、どこに住むのが良いか、など知りたいことを聞くことが多かった。留学生向けの情報は少なく、また自分から留学生の報告書などを見ることも少なかった。しておいて良かったことは、携帯会社や両替所の目星を付けておいたことなど。準備不足だったこととしては、入国審査後にパスポートを確認しなかったことである。留学ビザを取得済みであるにも拘わらず、観光ビザのスタンプを押されていることに翌日気が付き、入国管理局まで行くことになってしまった。その後インターネットで調べると、頻繁に起こることらしいが、自分は全く想定していなかったため、確認不足を後悔した。

### II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類: Non-immigrant ED	申請先: 在京タイ王国大使館
ビザ取得所要日数: 2-3 日程度 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: 9000 円

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？

大使館指定の申請書、保護者による身元証明書、留学先大学の入学許可証、在籍大学での在籍証明書など。申請書や身元証明書は大使館 HP からコピー、入学許可証は留学先大学から受け取った。在籍証明書は、大使館指定の情報などがあるため、国際連携事務室に依頼した。

具体的な申し込み手順を教えてください。

必要書類を準備し、大使館の HP で予約をとり、予約日時に在京タイ大使館へ行く。申請後、数日でパスポートが自宅に郵送される。

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？

特になし

ビザ取得に関して困った点・注意点

特になし。

### II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

携帯電話を Sim フリーにしておくこと。

口座開設までの間の現地通貨はある程度持参するべきだが、現地の両替所の方がレートが良いことが多いことは知っておいた方がよい。

### Ⅲ. 現地到着後のながれ

#### 1. 到着時の様子

利用航空会社	Bangkok Airways				
航空券手配方法	エクスぺディア ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名	スワンナプーム国際空港	現地到着時刻	15:00		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配 の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の 出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 ( <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 )	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間					

空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等

大学到着日	月 日 時頃
-------	--------

#### 2. 住居について

到着後すぐに住居 入居できましたか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方: 月 日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> その他(コンドミニアム)	
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他( )	
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他( )	
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他( )	
住居の申込み手順	留学先大学の事務室に住居リストを送ってもらい、気になった物件に内見に行っていただく。その写真を見て部屋を決定し、現地の不動産会社と直接やり取り。	

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか?トラブルはありましたか?

渡航前に比較的スムーズに決定したが、入居後に設備の故障などが多くあった。

#### 3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	授業開始後。8月10日。
参加必須ですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は?	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額: )
内容の様子は?	留学生のみの簡単なガイダンスで、交流機会は特になし。
留学生用特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	8月8日から

#### IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

##### 1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

渡航後 90 日ごとに 90 日レポートの提出が必要。現在はオンラインで提出できる。

また、イミグレーションセンターでのビザの延長も必要。自分の場合は 1900 パーツで留学期間終了まで延長することができたが、別日に行った友人は 90 日だった。理由は不明。

##### 2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

特になし

##### 3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

大学の事務に口座開設したい旨を伝えると必要書類を用意してくれる。当日に作ることが出来、費用は 300 パーツ程度。

##### 4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

していない。

#### V. 履修科目と授業について

##### 1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に( 月 日頃)

オンラインで登録  志願書類に記入して登録  できなかった  その他( )

到着後に(8 月 19 日頃)

オンラインで登録  国際オフィス等の仲介  できなかった  その他( )

登録時に留学生として優先されることは

あった

なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

現地学生は基本的に必修が多く、コマも決まっているがすべて自由に選択することができた。

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？



## Ⅶ. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

私が留学しているCOSCIは、留学生がほとんどおらず、他の学部の留学生(特に英語を使用しての留学生)とは留学生生活が異なると思う。人文学部に留学している友人には日本語学科のバディがいるが、その他の学部にその制度はなく(私の知る限り)、他にも留学生向けのイベントなどがある学部もある。授業も、バイリンガルプログラムのためか、英語使用の授業であっても、講義の半分ほどはタイ語が使われることも多い。ただ、周りの生徒も、教授も親切で、分からないことがあれば助けてくれるため、そこまで困ることはない。また、他学部の授業を履修することもでき、完全に英語や日本語の授業も存在する。

生活については、いたるところに日本食レストランや日本食が売っているスーパーマーケットがあり、食に困ることはないというのが印象。道路渋滞や、時々ある停電、洪水など日本ではなかなか体験しないことも多いが、数週間で慣れた。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

タイ語が全くできなくても、英語や指差しなどで必要最低限のコミュニケーションをとることはできますが、やはり少しでもタイ語を話せた方が便利で豊かな生活が送れると思います。タイ語を読めれば、屋台やレストランでの注文がスムーズにできますし、タイ人の友達と会話をするときにも会話の幅が広がると思います。タイ語の勉強は、するに越したことはないのではないのでしょうか。



↑ キャンパスの風景 (いたるところに猫がいます)

